

# 歴史文化館ニュース 第8号

2012. 12. 3

## 旧家政学部（現生活科学部）食物学科のあゆみ展に寄せて

梶山歴史文化館館長 梶山 美恵子

昭和5年に家政系の最高教育機関として設置されていた「梶山女子専門学校」は、戦後昭和24年、食物学科と被服学科の2学科からなる家政学部を基礎とする新制「梶山女学園大学」として新しいスタートを切りました。同年に中学校・高等学校の家庭科教員免許の付与、昭和27年には栄養士免許証の交付が認められ、以後家庭科教員や栄養士など、社会で活躍する人材を多く輩出してきました。

大学の場所は当初覚王山にあり、中学・高校とキャンパスを共有していましたが、昭和37年に星が丘キャンパスへの移転が実現しました。同年には新しいキャンパスで日本家政学会総会が開催され、本学家政学部は、日本家政学会の他、日本栄養食糧学会、日本繊維製品消費学会などの学会でも重要な役割を果たしていくこととなり、中部地方の家政学部として不動の地位を占めていくことになりました。昭和52年には中部地方唯一、食物学専攻・被服学専攻（修士課程）の家政系大学院も誕生しました。こうした旧家政学部の発展によって現在7学部を有する梶山女学園大学の基礎が築かれたと言えます。

今回、旧家政学部食物学科を牽引してこられた旧教員の方々や同窓会が中心となって、旧食物学科のあゆみ展が開催されることになりました。旧家政学部は生活科学部となり、旧食物学科は管理栄養学科になりました。この60有余年の発展のあゆみを辿り、それぞれの時代に教員と学生がどのような活動をしてきたかを振り返ることは、旧食物学科の教員の方々や卒業生の皆さんのみならず、現在の在学生の皆さんにとっても大変意義深いことと思います。「歴史を学ぶと未来が見える」（梶山歴史文化館リーフレット）ののではないのでしょうか。



\*\*\*\*\*

## 『旧家政学部（現生活科学部）食物学科のあゆみ展』のご案内

現在、文化展示室において平成25年2月27日（水）までの会期で、旧家政学部食物学科同窓生有志主催の『旧家政学部（現生活科学部）食物学科のあゆみ展』を開催しています。

昭和24年に本学初めての最高教育機関である梶山女学園大学家政学部が設置され、キャンパスの移転や学部名称の変更などを経て63年が経ちます。約60年にわたる発展のあゆみを7つのテーマに沿って展示しており、梶山女学園の家政学教育の歴史をみることができます。

皆様のご来館を心よりお待ち申し上げます。

会期: 平成24年10月3日（水）～平成25年2月27日（水）

毎週水曜日・金曜日、10～17時、入場無料

会場: 梶山歴史文化館文化展示室

（梶山女学園大学 星が丘キャンパス 図書館4階）



## 【歴史展示室トピックス】 <前畑秀子（日本女子、初の金メダリスト）直筆メッセージ>

2012年ロンドンオリンピックは女子選手の活躍が目立ちました。

1936年第11回ベルリンオリンピック大会において、日本女子で初めて金メダルを獲得した、卒業生の前畑秀子選手の直筆メッセージについてご紹介します。

前畑秀子直筆のメッセージ『30年後の子どもたちへ贈る言葉』は、1979年に国際児童年を記念し、愛知青少年公園（現在の愛・地球博記念公園）に埋設したタイムカプセルに封入されていたものです。2009年11月20日に30年ぶりにタイムカプセルが開封されました。

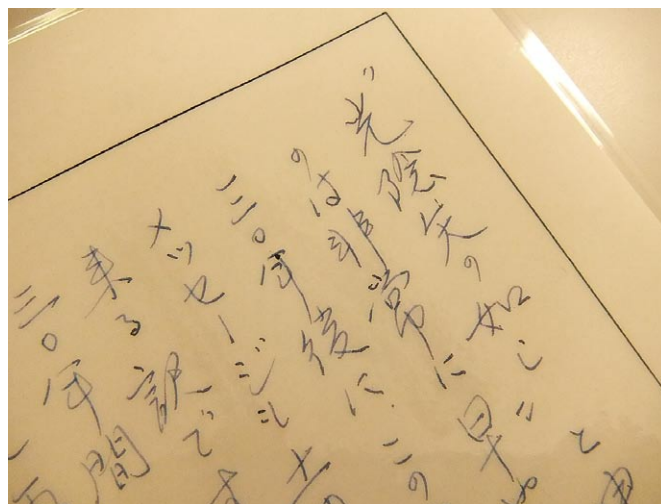
メッセージは、「光陰矢の如し」とはじまり、30年後も変わらない子どもたちへの強い励まし、エールが書かれています。本文を一部抜粋し、紹介します。

「三〇年経つても少しも変わっていないのは、そこに人がいると言ふ事です。（中略）あなた達子供さんが目を大きく見開いて大地に立っていると言ふ事です。月日がいくら経過しようと、みなさん方は次ぎの時代をまかされたホープなのです。日本を愛し、お父さん、お母さんに感謝し世界中の子供達と手をつなぎ、世界の平和に向い前進する事です。（中略）何事も最後まで成しとげる精神は昔も今も、又、未来も少しも変わらないと確信しています。“さあ”無限の可能性を持ったあなた達、明日に向つて第一歩を踏み出ようではありませんか。

一九三六年第十一回ベルリンオリンピック大会 女子二〇〇米平泳優勝 兵藤秀子」（原文ママ、兵藤は前畑の新姓。）

前畑秀子さんの「最後まで成しとげる」という言葉に、両親の死を乗り越え、ロサンゼルスオリンピックでの銀メダル獲得後でも諦めずに、ベルリンオリンピックで金メダルを獲得するまでに至った精神の強さがうかがえます。

メッセージの現物は歴史展示室に展示しておりますので、ご来館の際には、是非ご一読ください。



\*\*\*\*\*

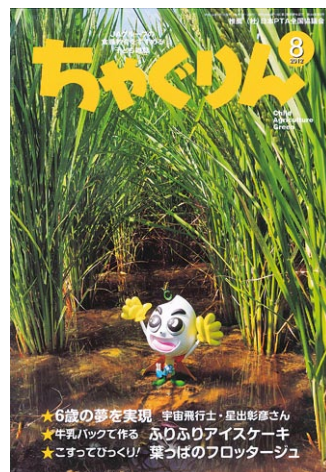
### <前畑秀子の伝記漫画>

前畑秀子の伝記漫画がJ Aグループの月刊誌『ちゃぐりん8月号』（2012年8月1日）に掲載されました。掲載にあたり、相山歴史文化館館長、相山美恵子が監修を行いました。

『ちゃぐりん』はJ Aグループの食農教育をすすめる子ども雑誌で、伝記シリーズ「いのちの歴史」では、毎回歴史上の人物の生涯が紹介されており、漫画から前畑秀子の生涯を楽しく学ぶことができます。

歴史文化館歴史展示室の休憩スペースにも置いてありますので、ご来館の際には是非ご一読ください。

\*\*\*\*\*



### <前畑秀子に関する論文>

東海学園大学スポーツ健康科学部助教、木村華織さん（元、中京大学大学院生）の「糸菊」研究により、「相山女学校校友会誌「糸菊」（1924－1960）にみる前畑秀子」（体育史学会『体育史研究』第29号 2012年3月）が、全国版の学術誌に原著論文として掲載されました。

木村華織さんは毎週足繁く来館され、熱心に研究されていました。

当館が研究に協力できたことは、嬉しい限りです。

\*\*\*\*\*

### 【糸菊についてのお知らせ】

歴史文化館では今後、「糸菊」のPDFデータをiPadから館内限定で閲覧できるようにする予定です。ご質問などございましたら、歴史文化館まで、ご連絡ください。



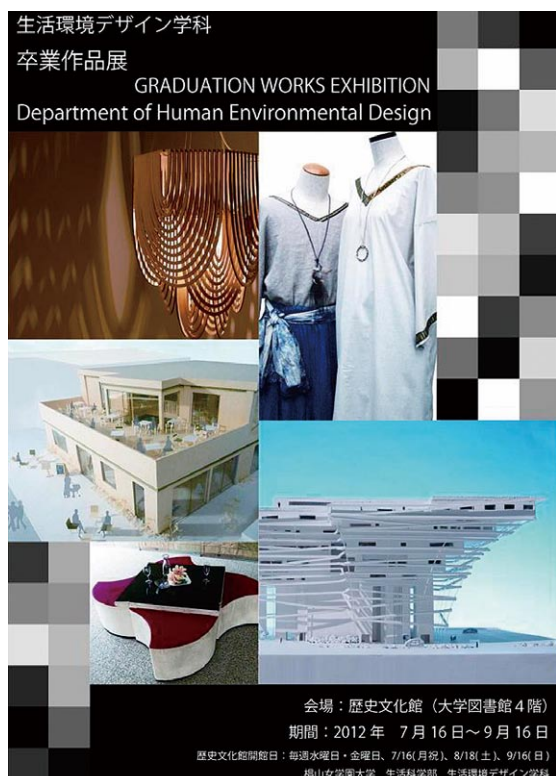


## < 梶山歴史文化館企画展 >

### 「生活環境デザイン学科卒業作品展」

平成24年7月16日（月）から平成24年9月16日（日）にかけて、『生活環境デザイン学科2011年度卒業作品展』を開催しました。

この企画展では生活環境デザイン学科における4年間の集大成となる卒業研究の中で、アパレルメディア分野、インテリアプロダクト分野、建築住居分野でそれぞれ優秀賞に選ばれた研究作品を展示しました。



## < 梶小4年生授業見学 >

平成24年6月7日（木）梶山女学園大学附属小学校の4年生60名が歴史文化館を訪見し、歴史文化館のスタッフの説明を聞きながら館内を見学しました。

歴史展示室や正式記念室の見学を通して、児童たちは梶山女学園の歴史に興味を持ったようです。特に、水泳の前畑秀子選手がベルリンオリンピックにおいて、日本人女性初の金メダルを取ったことが印象に残っているようでした。（4年B組学級通信に掲載されました。）



## < 「高・中同窓会」よりご寄付 >

去る10月10日、梶山歴史文化館において、高・中同窓会会長中村恵子さんより学園にご寄付をいただきました。これは7月7日に中高キャンパス内のランチルームで開催された「高中同窓会懇親会」でのバザーの収益金を、歴史文化館が来年度計画している中高の「メモリアルルーム」整備の一助にとご寄付いただいたものです。バザー当日はちょうど七夕の日でしたので、同窓会の皆さんや参加者によって笹にたくさんの短冊が飾られていました。同窓会の皆さんが心をこめて作られた手作りの品々によって「メモリアルルーム」が支えられることになるのは、歴史文化館にとって大変嬉しいことです。



## 【歴史の窓】

## <汽 船 旅 行 の 試 み>

大正10（1921）年の4月、椋山正式校長は横浜港から大洋丸で渡米し、同年7月にかけてアメリカ各地の教育事情に関する視察を行いました。この視察の体験をもとにして汽船を利用した修学旅行が着想され、さっそく大正11（1922）年10月、椋山高等女学校4年生および裁縫女学校3年生による修学旅行として、初めての汽船旅行が三泊四日で行われ、神戸、大阪、奈良、京都を見学しました。

生徒によって書かれた「修学旅行記」に次のような文章があります。

「大正11年10月6日、此の日は私共最終学年の者として永久に忘るべからざる楽しき旅路に向ふ日なり。私どもは此の日を以て全国のレコードを破らんとする汽船旅行に出でたゝんとす。されば若き少女の血は沸き肉は踊りぬ。なれど此の目出度旅の第一日なるには空は如何にして晴れ渡らざるにかと、不安の念を懷きぬ。停車場に着けば、已に三々五々何れも包み切れぬ喜びに溢れて語り合へるを見る。午前七時校長の君より写真を撮りていただく。やがて汽船の人となる。」（『椋山女学園七十五年史』より、一部略）



この文章から、汽船旅行は当時としては思い切った試みであったことが推察できます。また、船内を見学したり船中でのマナーや遊びなどを体験できることで、生徒たちから評判が良かったため、汽船旅行は昭和7（1932）年まで続けられました。

\*\*\*\*\*

## <歴史文化館専門委員新体制について>

歴史文化館では、より充実した運営を行うために専門委員会を置いています。平成24年度からは、歴史文化館資料のデジタル化を目的として平成22年度末に発足した「デジタルアーカイブ研究会」のメンバー等も加わり、11名の専門委員と4名の歴史文化館メンバーで構成された委員会となっています。

専門委員は、それぞれの専門性を活かした歴史文化館資料の調査・研究等の業務を行っています。

### 【平成24年度歴史文化館専門委員会構成（敬称略）】

（専門委員）

①飯塚恵理人 ②小倉祥子 ③佐野輝明 ④杉藤重信 ⑤福永智子 ⑥三木邦弘 ⑦見田隆鑑 ⑧宮下十有  
⑨村瀬輝恭 ⑩森昌彦 ⑪八木茂徳 （五十音順）

（歴史文化館メンバー）

椋山美恵子、河路峰雄、大須賀久範、柘植あい

\*\*\*\*\*

## 【寄贈品・寄付紹介】

- 椋山の水泳部の活動に関する資料（昭和9年～昭和15年）
- 水上競技大会プログラム・水上競技大会賞状
- 新聞スクラップ（昭和11年～昭和15年）
- 写真アルバム（昭和9年～昭和15年）
- その他数点
- （以上、中川佐和子氏 寄贈）
- テニスラケット（昭和29年頃使用）
- 校章入りタオルハンカチ
- （以上、三浦愛子氏 寄贈）
- iPad2（3台）
- （以上、小栗 晃氏 寄贈）

\*\*\*\*\*

## 編集後記

椋山歴史文化館も開館からはや3年が過ぎ、様々な企画展を開催してきました。今後も関係の皆さまのご協力をいただきながら、皆様に椋山についてより深く知っていただけるような企画・展示を開催して参りたいと思っております。また、歴史文化館は学園全体から有志企画展を募集しており、椋山の歴史がうかがえるものから現在の活動の様子がわかるものまで、様々な企画展を募集しております。

良いアイデアがありましたら、是非お寄せください。

### 歴史文化館ニュース 第8号

発行日 2012年（平成24年）12月3日

編集・発行 椋山歴史文化館

名古屋市千種区星が丘元町17番3号

椋山女学園大学 星が丘キャンパス 図書館4階

TEL 052（781）1186（代）

052（781）4590（直）

編集担当者 椋山美恵子 河路峰雄 大須賀久範 柘植あい